

北海道自治体学会議会技術研究会・新型コロナにかかる議員向けアンケート調査

アンケート調査への回答については、議員個々のお立場で、率直なご回答をお寄せください。なお、皆さんからいただいた回答は、集計処理後、統計上の数値として概要及び特徴を分析し、回答者個人が特定されることはありませんので、後日皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

1 あなたの所属する議会について

①市議会 ②町村議会 ③道議会 (○で囲ってください)

2 あなたの所属する議会では新型コロナ感染の影響はありましたか。

①影響がかなりあった ②影響が多少あった ③影響はなかった

3 具体的にどのような取組みを進めましたか。(各項目それぞれについて複数選択可)

※○で囲む、下線を引くなど、分かるようにしていただくことでOK

※なお、2で「③影響はなかった」に回答しても、何らかの取組みを行っている場合にはご回答ください。

(1) 議会運営全般について

①議場・委員会室でのマスク着用 (必着 極力着用) ⇒ 選択した場合、カッコ内も選択

②議場・委員会室に入場・入室の際のアルコール消毒 (手指等 会議室)

⇒ 選択した場合、カッコ内も選択

③議場・委員会室の換気

④発熱等のある場合の入場・入室の自粛 (議員 説明員 傍聴者)

⇒ 選択した場合、カッコ内も選択

⑤検温の実施

⑥議員間の座席に関するソーシャルディスタンスの確保

⑦議場・委員会室の空間(広さ)の制約により、会議の場所を、議会外の施設に設定

⇒ その場合、対象会議(議場 委員会 その他)の中から選択

⑧長側職員の必要最小限の出席要請～3密回避の観点

⑨傍聴者の座席に関するソーシャルディスタンスの確保

⑩傍聴の制限

⑪議場・委員会室、傍聴席への飲料水の持込み可

⑫一般質問・質疑の中止・取下げ、短縮化

⑬会期の縮小

⑭審議日数の短縮

⑮会期の延長

⑯一般質問・質疑の議員・会派持ち時間の短縮

⑰一般質問から文書質問への切替え

⑱通年議会のため、柔軟に運用

⑲新型コロナを契機として、通年議会の制度化について検討

⑳オンライン会議の活用 (本会議 委員会 その他) ⇒ 選択した場合、カッコ内も選択

㉑オンライン会議の活用、議会内の自立性の強化の観点からの議員討議の充実化に向かう。

㉒インターネット視聴への誘導

㉓新型コロナ対策のための意見書の提出

㉔視察受入れの自粛・中止

㉕議員による視察の自粛・中止

㉖新型コロナを見据えたBCP(業務継続計画)作成

- ⑳現在のBCPを、新型コロナ対策を見据えて運用している。
- ㉑議会内に対策会議を設置して感染時に備える。
- ㉒オンライン会議等新型コロナ対策を見据えた会議規則等の改正
- ㉓新型コロナという、住民にとって最重要の課題であることから、参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。
- ㉔新型コロナのため、議会参集を行わず、長の専決処分を容認した。
- ㉕新型コロナによる自治体の財政ひっ迫のため、議会経費等を削減
 - ⇒ その場合、対象項目（議員報酬 政務活動費 その他経費 議員定数）の中から選択
 - ・その他自由記載

(2) 議会と住民との交流

- ①議会報告会等住民が集まる場での3密の回避やソーシャルディスタンスの確保、マスク着用、手指等アルコール消毒、検温等を確保した上で開催
- ②議会報告会等をリモート会議活用により開催
- ③議会報告会等の開催に当たり、参加者を少なくする一方で、開催回数を増やしている。
- ④議会広報を含め、住民への情報提供を増やした。
- ⑤議会が、新型コロナ感染拡大前に行ってきた活動より後退した項目が生じた場合の、住民への説明責任を果たしている。
- ⑥議会モニター等少人数の住民参加（新型コロナの感染拡大の防止の観点）の有効活用
- ⑦新型コロナという、住民にとって最重要の課題であることから、参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。（再掲）
- ⑧議会が、新型コロナ感染拡大前に行ってきた活動より後退した項目が生じた場合の、住民への説明責任を果たしていないため、住民からの不信感が増している。
- ⑨議会報告会等住民との交流を減らした。（中止した。）
- ⑩住民主催の各種会合、行事等への参加、出席が減った。
 - ・その他自由記載

(3) 議会と長との関係

- ①新型コロナ対策として、長に対して政策要望等を行った。
- ②新型コロナによるオンライン会議等情報基盤の整備のための国の交付金活用を、長に対して要求した。⇒ その場合の結果について、両項目（予算化 実現せず）から選択
- ③長側職員の必要最小限の出席要請～3密回避の観点（再掲）
- ④一般質問から文書質問への切替え（再掲）
- ⑤オンライン会議の活用（本会議 委員会 その他）
 - ⇒ 選択した場合、カッコ内も選択（再掲）
- ⑥新型コロナという、住民にとって最重要の課題であることから、参考人制度や住民の政策提案制度を活用して審議の充実を図る。（再掲）
- ⑦新型コロナのため、議会参集を行わず、長の専決処分を容認した。（再掲）
 - ・その他自由記載

4 自治体職員、自治体議会事務局職員との関係性について

(1) 自治体職員との関係に変化がありましたか。

- ①変化がかなりあった ②変化が多少あった ③変化はなかった

(1) -ア それはどのような変化でしたか。（複数回答可）

- ①職員の部署を訪れる回数、あるいは、議員のもとに来てもらう回数が減り、電話等で済ませるようになった。
- ②住民からの依頼をつなぐことが減った。
- ③住民からの依頼をつなぐことが増えた。
- ④職員による本会議等の質問取りが減った。

⑤本会議等での質問が減った。(④と表裏)

⑥(北海道、市町村)管内の行事、会議、イベント等への出席・参加(依頼)が減った。

(2) 自治体議会事務局職員との関係に変化がありましたか。

①変化がかなりあった ②変化が多少あった ③変化はなかった

(2) -ア それはどのような変化でしたか。(複数回答可)

①事務局職員への調査依頼が減った。

②①とは逆に、身近な事務局職員への調査依頼が増えた。

③議会内の諸会議、諸活動等に関する依頼、指示が減った。

④議会(建物としての)を訪れるのが減った。

⑤議会(建物としての)を訪れるのが増えた。

⑥新型コロナの感染拡大を踏まえた、いわゆる「新しい議会活動」について情報収集の依頼を行うなど、新たな取組みへの協力要請

・その他自由記載

5 議会基本条例の制定等について

(1) あなたの議会では、議会基本条例を制定していますか。

①制定している。 制定している場合、制定の時期 年 月

②制定していない。

(2) 議会基本条例を制定している場合、新型コロナの問題に対応していく上で上手に活用できていますか。

①(少しでも)活用できている。

⇒ 具体的に書ける場合は簡潔に。

②活用できていない。

⇒ 活用できていない理由を簡潔に。

6 コロナ禍での今後の議会のあり方についておたずねします。

①コロナ禍においていくつかの試みを行ったので、これらをさらに進め、新しい議会のあり方を模索していくべき。

②現在の議会活動が(大幅に)制限されているので、これを教訓に、収束が見えてきたら、あらためて、今後の議会活動を見直したい。

③収束したら、元の生活に戻るので、今は、我慢して、耐え忍ぶ。

④その他()

上記①～④のいずれを回答した場合の自由記載 ⇒ 特に強調したい事項

7 新型コロナウイルス感染症による影響を受けて、ご自分の議会の議会改革は、良い方向に向かうと思いますか。

①そう思う ②そう思わない

上記の理由の自由記載

ご回答ありがとうございました。